



わたくしほりに意見を申し合った

# 市民参加のミーティング開く 成美など 福知山の発展テーマに

福知山らしさって。古里の発展のために、私たちは何ができるだろう。そんなテーマで、無作為に選ばれた市民らが意見を申し合おう「未来を描く！福知山100人ミーティング」が18日、西小谷ヶ丘の成美大学で開かれた。

「スイーツを生かして、1千人お茶会を開催してみは」など、自由な発想の案が次々に飛び出し、活発な議論が展開された。

実施主体の龍谷、成美両大学と市が、まちづくり計画の策定にあ

たって、市民の意見を反映させることなどを目的に、昨年から開催している。

今年は、8月28日から4日間を予定していたが、8月豪雨災害の発生で延期し、期間を一日のみに短縮し、開催にぎつけた。

ミーティングには、高校生から70歳代までの38人が参加した。AとBまでの2グループに分かれ、「地元のスィーツを生かしたまちづくり」と福知山らしさは何で、将来どんなまちにしたいかをテーマに、意見交換した。

福知山らしさに関して、良い面として「各店のスイーツが魅力的」「北近畿唯一の大学がある」「自然が

多い」「歴史的資源がたくさんある」など。反対に悪い面は「観光の目玉が無い」「情報発信がうまく出来ていない」などの意見があった。

これらを基に、観光客に足を運んでもらうための提案もあり、「有名なだけでなく一般の人を福知山大使として登録する制度を作り、他府県に情報を発信する」「市内のイベントのほか、歴史や観光地などの情報を載せたカレンダーを作る」といった案が出されていた。

福知山高校2年の荒川清蘭さんは「これまでは、自分の古里の将来について、深く考えることが無かったけど、みんなで様々な意



重機で土砂を取り除き、会員は倒木の伐採をした

見を出し合うことが、き、とても良い機会に

8月豪雨で土砂崩れ  
三坂峠が通行可能に  
報恩寺のグループが  
応急復旧工事  
8月豪雨で土砂崩れ

になりました」と話して

が起き通行できなくなっていた福知山市報恩寺と綾部市鍛冶屋町をつなぐ三坂峠の山道で18日、報恩寺の人たちが応急復旧工事をし

て、通行できるようにした。

峠は報恩寺側の1方が所、高さ約10m、幅約30mにわたって土砂が崩れ、峠道をふさいでいた。管理する報恩寺の地域活性化グループ、笹の雪の会栗林拓爾会長には通行を希望する声が多くあり、自分たちで応急的に復旧工事をすることにした。

工事には14人が参加し、重機で土砂を取り除いたり、倒れている木を切ったりした。工事は8日間予定していたが、会員の熱意で、同日だけで完了。みんな安心した表情を浮かべ、会が峠の登り口に置いていた通行止めを知らせる看板を撤去した。

# 新聞 日刊 両丹

発行所  
(株) 両丹日日新聞社  
〒620-0055  
福知山市篠尾新町一丁目99  
TEL0773-22-2688 FAX22-3232  
郵便番号01050-6-42028  
E-mail info@ryoutan.co.jp  
http://www.ryoutan.co.jp

新聞購読のお申し込み、配達についてのお問い合わせは次の販売店へどうぞ。  
俣町・昭和・大正・修善・上野宮・天津・公誠・上川口・三岳・金谷・大江町・坂久野町  
(有) 両丹日日新聞専売所  
TEL23-8182 FAX23-9266  
雀部・成仁・蓮喬・鹿我・佐賀・上六人部・中六人部・下六人部・三和町  
(有) 両丹日日新聞サービスセンター  
TEL27-9804 FAX27-0074

両丹日日新聞への取次依頼はTEL22-3324まで  
広告申し込みなどはTEL22-2688までご連絡下さい

給与振込  
「近く」で「便利」な  
ほくとしんさん

地域元氣富貴の  
京都北都信用金庫  
http://www.hokuto-shinkin.co.jp/

年金のお受け取りは

あすの運勢 吉田龍永【赤口】

一白〓●暴飲暴食は体に悪影響。注意  
二黒〓〇思いを打ち明けて楽しい時間  
三碧〓△無理をしたストレスがたまる  
四緑〓◎ぶち当たってはいけは道が開く  
五黄〓〇心配りと社交性を持って吉日  
六白〓▲すぐ決める手間をかけるべき  
七赤〓〇社交上手になって人気が上昇  
八白〓△軌道修正早めにはれば傷残  
九紫〓〇異性にもって明るく楽しい日